

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2016年6月調査）

2016年7月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 調査結果の概要.....	3
2. 国内向け出荷量の動向.....	5
3. 輸送機関利用の動向.....	9
(1) 一般トラック.....	10
(2) 特別積合せトラック.....	11
(3) 宅配便.....	12
(4) 鉄道コンテナ.....	13
(5) 内航コンテナ.....	14
(6) 国内航空.....	15
4. 輸出入貨物量の動向.....	16
(1) 外資コンテナ ー輸出ー.....	17
(2) 外資コンテナ ー輸入ー.....	18
(3) 国際航空 ー輸出ー.....	19
(4) 国際航空 ー輸入ー.....	20
5. 在庫量と営業倉庫利用の動向.....	21
(1) 在庫量 ー原材料ー.....	22
(2) 在庫量 ー製品ー.....	23
(3) 営業倉庫保管量.....	24
6. 運賃・料金の動向.....	25
(1) 一般トラック運賃.....	26
(2) 特別積合せトラック運賃.....	27
(3) 鉄道コンテナ運賃.....	28
(4) 内航コンテナ運賃.....	29
(5) 国内航空運賃.....	30
(6) 営業倉庫保管料金.....	31
7. 物流コスト割合の動向.....	32

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2016年4～6月の実績と2016年7～9月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,039社からご協力をいただき、回答率は41.6%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率 (%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	234	105	44.9
	繊 維 ・ 衣 服	111	37	33.3
	木 材 ・ 家 具	90	37	41.1
	パ ル プ ・ 紙	109	51	46.8
	化学・プラスチック	239	112	46.9
	窯 業 ・ 土 石	102	38	37.3
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	100	51.3
	金 属 製 品	128	56	43.8
	一 般 機 械	222	97	43.7
	電 気 機 械	333	116	34.8
	輸 送 用 機 械	251	101	40.2
	精 密 機 械	69	31	44.9
	そ の 他	167	62	37.1
	計	2,250	943	41.9
卸 売 業	生 産 財	124	42	33.9
	消 費 財	126	54	42.9
	計	250	96	38.4
合 計		2,500	1,039	41.6

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 調査結果の概要－

- 4～6月実績（見込み）の国内向け出荷量『荷動き指数』は△14と、前期（1～3月）実績の△11よりさらに悪化し、“二番底”を探る展開となっている。7～9月見通しでは△5と大幅な改善が見込まれるものの、足元において荷動きの盛り上がりはまだ期待しづらい状況にある。
- 業種別『荷動き指数』については、4～6月実績（見込み）では、全15業種7業種において悪化し、プラスの業種は食料品・飲料、パルプ・紙の2業種にとどまった。7～9月見通しでは、大半の業種において改善の動きがみられるものの、プラスの業種は5業種にとどまる見込みである。
- 地域別『荷動き指数』については、4～6月実績（見込み）では、改善の動きがみられたのは3地域であり、北海道で唯一プラスを示した。7～9月見通しでは、7地域において改善の動きがみられるものの、プラスの地域は九州・沖縄のみで、回復の足取りは依然として鈍い。
- 輸送機関別『利用動向指数』については、4～6月実績（見込み）では、改善の動きがみられたのは内航コンテナ・RORO船のみで、全輸送機関で『利用動向指数』はマイナスを示した。7～9月見通しでは、全輸送機関において改善方向に動くものの、引き続き全輸送機関で『利用動向指数』がマイナスとなる。総じてみると、各輸送機関とも利用回復に向けての足取りは依然として鈍い。
- 輸出入貨物量『荷動き指数』については、4～6月実績（見込み）では、国際航空の輸出、輸入において上昇する一方、外貨コンテナの輸出で横ばい、輸入では低下し、『荷動き指数』は全輸送機関でマイナスを示した。7～9月見通しでは、全輸送機関において『荷動き指数』が改善するものの、引き続き全輸送機関でマイナスとなり、総じてみると、荷動き回復に向けての足取りは依然として鈍い。
- 在庫量と営業倉庫保管量の『動向指数』については、4～6月実績（見込み）では、営業倉庫保管量でゼロ水準、原材料在庫、製品在庫ではマイナスとなった。7～9月見通しでは、原材料在庫において上昇するものの、すべての『動向指数』がマイナスとなり、在庫調整の進展が窺える。

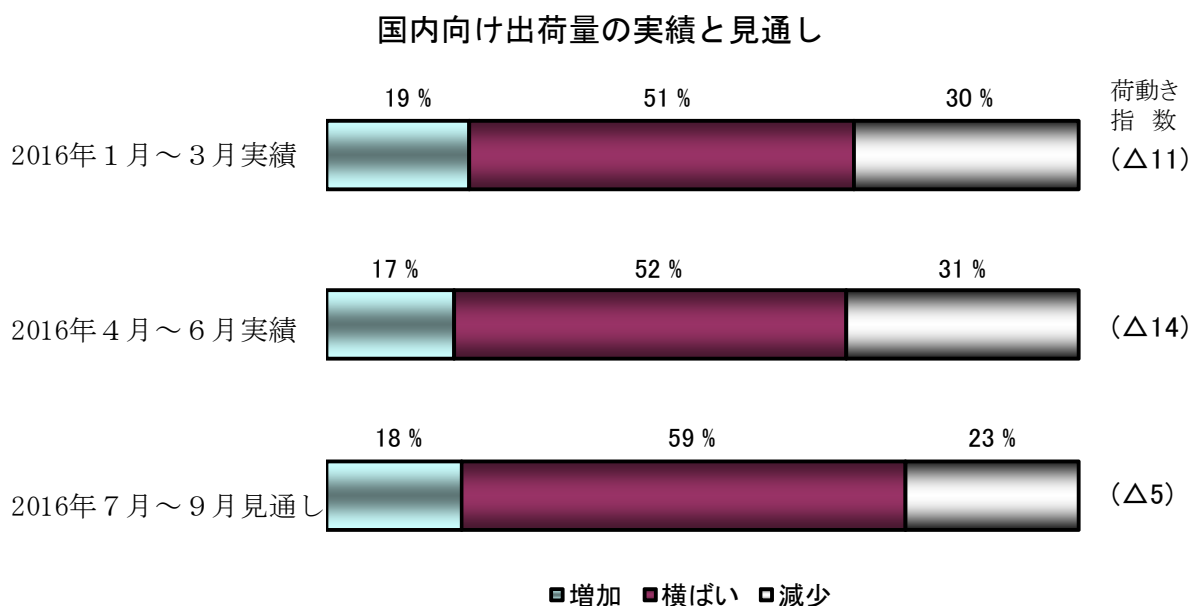
- 運賃・料金水準『動向指数』については、4～6月実績（見込み）では、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ・RORO船において上昇する一方、倉庫保管料で横ばい、一般トラック、国内航空では低下した。『動向指数』は、内航コンテナ・RORO船、国内航空以外の4機関においてプラスを示した。7～9月見通しでは、一般トラック、鉄道コンテナにおいて上昇する一方、内航コンテナ・RORO船、国内航空、倉庫保管料で横ばい、特別積合せトラックでは低下する。内航コンテナ・RORO船、国内航空以外の4機関では『動向指数』がプラスを維持し、運賃・料金の上昇基調に変化はないが、ややマイルドになる。

- 売上高に対する物流コスト割合の『動向指数』については、4～6月実績（見込み）では13業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス9で、前期（1～3月）実績から弱含み横ばいで推移した。7～9月見通しでは、精密機械がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻すことなどにより、業種全体の『動向指数』はプラス10と強含み横ばいで推移が見込まれる。物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。

－ 2. 国内向け出荷量の動向－

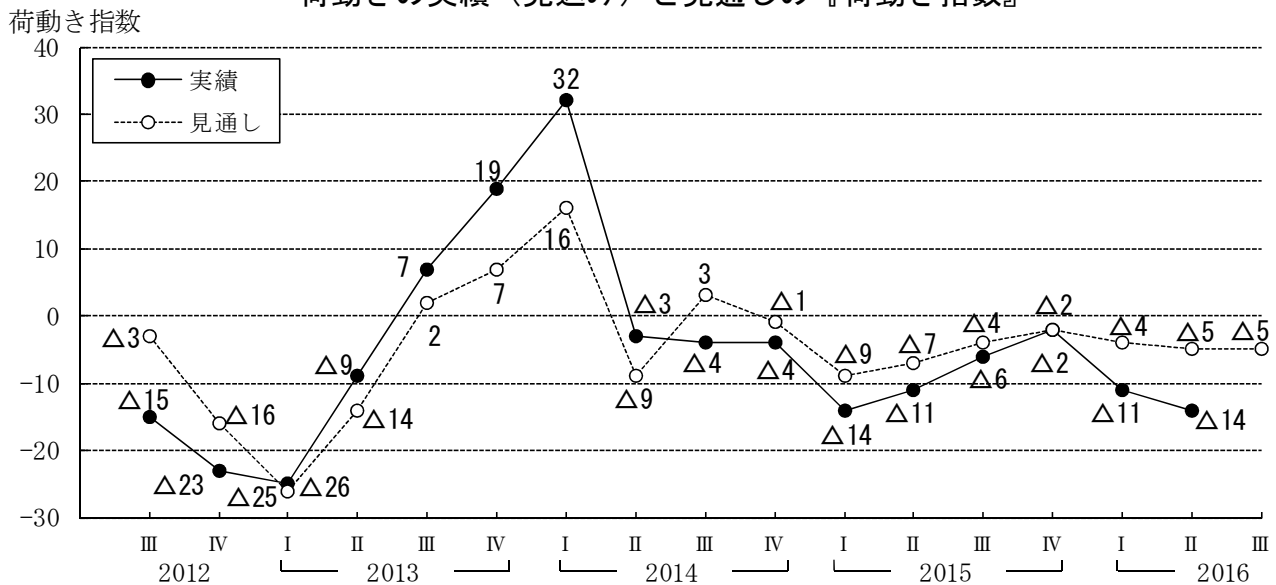
■ 4～6月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3月）実績から2ポイント低下し17%となった。一方、「減少」との回答は前期より1ポイント増加して31%となり、この結果、『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は3ポイント低下して△14となった。

■ 7～9月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績（見込み）から強含み横ばいで推移し18%となる一方、「減少」との回答は8ポイント低下し23%になる。この結果、『荷動き指数』は9ポイント上昇して△5と見込まれる。



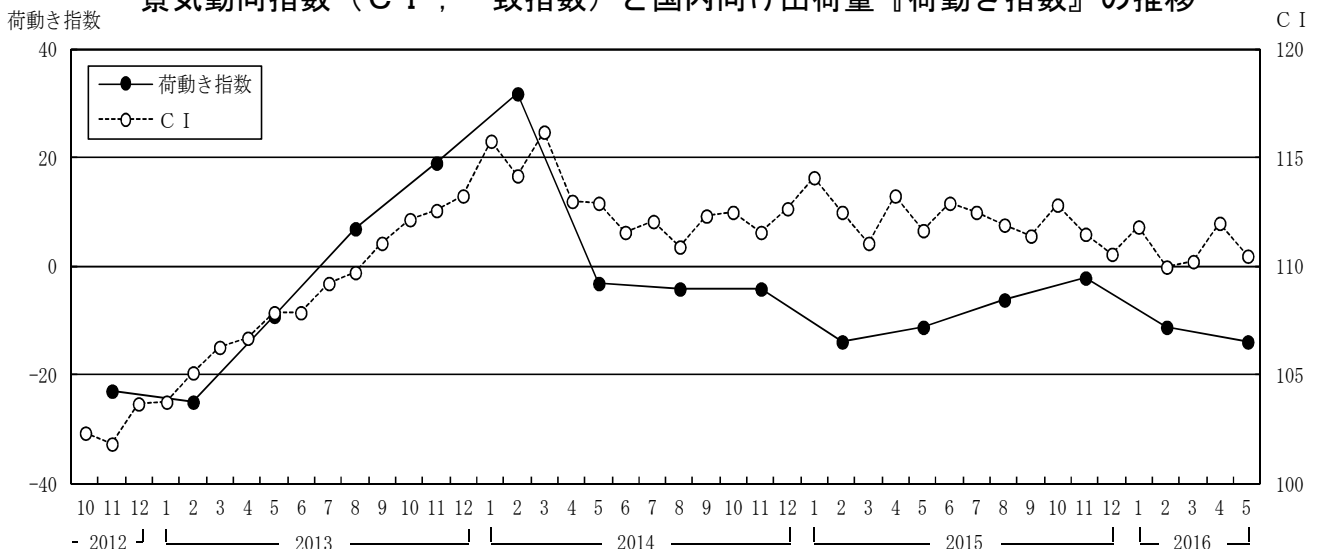
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、駆け込み需要の反動などから2014年4～6月実績において△3と水面下に沈み、以降マイナスの推移が続いている。2015年1～3月実績では、前年同期における大幅な盛り上がりの反動もあって、△14と一段の悪化がみられたが、この時点を底に緩やかながら改善方向に動き、10～12月実績では△2まで戻した。しかし、2016年1～3月実績、4～6月実績（見込み）では再び悪化に向かい、“二番底”を探る展開となっている。足元において荷動きの盛り上がりはまだ期待しづらい状況にある。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』（2016年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し）、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』（2016年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断）。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年3月、景気の谷は2012年11月となっている。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、**全15業種中7業種**において**前期（1～3月）実績より悪化した**。食料品・飲料およびパルプ・紙がプラスで、残り13業種がマイナスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品、精密機械、消費財卸の3業種がプラスに浮上するなど、大半の業種において改善の動きがみられる。ただし、**プラスの業種は5業種にとどまり、10業種がマイナスになる見込みである**。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	106	22	52	26	△4	103	28	52	20	8	102	22	66	12	10
	繊維・衣服	36	22	53	25	△3	36	16	42	42	△26	36	17	44	39	△22
	木材・家具	41	17	56	27	△10	36	19	50	31	△12	36	19	59	22	△3
	パルプ・紙	48	27	52	21	6	51	25	57	18	7	51	24	59	17	7
	化学・プラスチック	112	18	57	25	△7	111	17	60	23	△6	110	16	66	18	△2
	窯業・土石	42	21	38	41	△20	36	11	47	42	△31	36	13	56	31	△18
	鉄鋼・非鉄	103	13	50	37	△24	99	16	49	35	△19	99	20	49	31	△11
	金属製品	54	11	61	28	△17	51	16	57	27	△11	51	22	65	13	9
	一般機械	92	15	52	33	△18	96	13	58	29	△16	96	11	64	25	△14
	電気機械	120	17	44	39	△22	112	16	46	38	△22	112	17	60	23	△6
	輸送用機械	102	25	48	27	△2	99	10	53	37	△27	99	14	53	33	△19
	精密機械	26	23	69	8	15	31	13	58	29	△16	31	26	55	19	7
	その他の	62	23	42	35	△12	61	21	49	30	△9	61	19	56	25	△6
計	944	19	51	30	△11	922	17	53	30	△13	920	18	58	24	△6	
卸売業	生産財	50	24	46	30	△6	41	19	44	37	△18	41	7	73	20	△13
	消費財	51	17	61	22	△5	53	17	53	30	△13	53	21	60	19	2
	計	101	21	53	26	△5	94	18	49	33	△15	94	15	66	19	△4
合計	1,045	19	51	30	△11	1,016	17	52	31	△14	1,014	18	59	23	△5	

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、北海道で唯一プラスを示したが、残り8地域ではマイナスとなった。前期（1～3月）実績との比較では、北海道、近畿、四国の3地域で改善の動きがみられる一方、東北、北陸・信越など5地域においては悪化した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、北陸・信越、九州・沖縄など7地域において改善の動きがみられる。ただし、プラスの地域は九州・沖縄のみであり、北海道でゼロ水準にとどまる以外は、残り7地域でマイナスとなり、回復の足取りは依然として鈍い。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

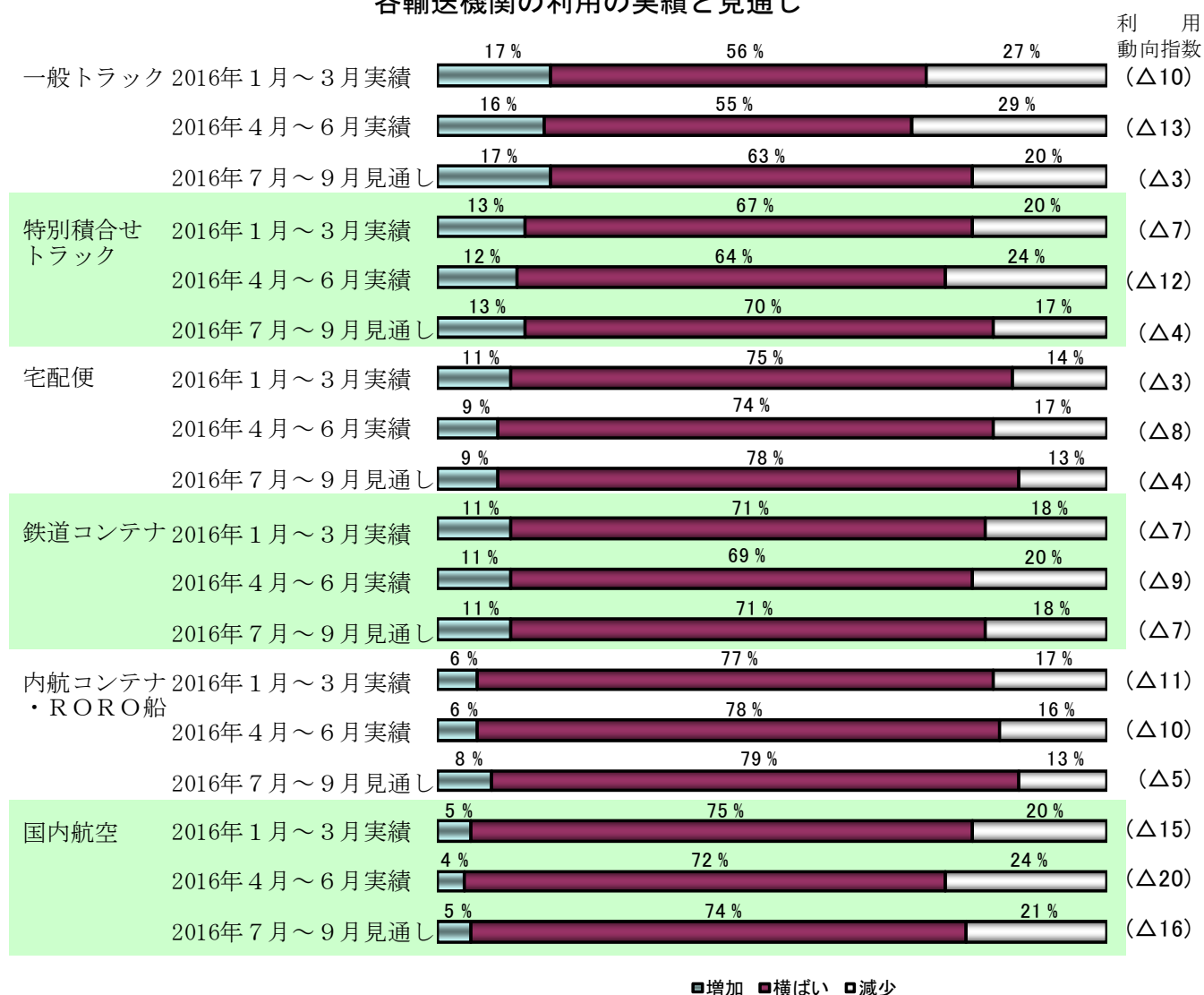
地 域	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北海道	51	24	51	25	△ 1	46	28	55	17	11	46	20	60	20	0
東 北	102	19	50	31	△ 12	102	15	52	33	△ 18	101	19	56	25	△ 6
関 東	264	17	50	33	△ 16	263	19	46	35	△ 16	263	22	51	27	△ 5
北陸・信越	86	15	52	33	△ 18	87	17	47	36	△ 19	87	16	66	18	△ 2
東 海	163	23	51	26	△ 3	158	14	57	29	△ 15	158	15	65	20	△ 5
近 畿	160	17	51	32	△ 15	154	18	53	29	△ 11	153	11	62	27	△ 16
中 国	98	23	49	28	△ 5	92	16	56	28	△ 12	92	18	59	23	△ 5
四 国	54	17	50	33	△ 16	56	18	59	23	△ 5	56	13	71	16	△ 3
九州・沖縄	67	21	63	16	5	58	15	59	26	△ 11	58	22	61	17	5
合 計	1,045	19	51	30	△ 11	1,016	17	52	31	△ 14	1,014	18	59	23	△ 5

－ 3. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、内航コンテナ・RORO船で前期（1～3 月）実績より改善する一方、その他の輸送機関では悪化の動きがみられた。この結果、**すべての輸送機関において、引き続き『利用動向指数』はマイナスを示している。**

■ 7～9 月の見通しでは、すべての輸送機関において改善方向に動き、一般トラックでは10ポイントの上昇が見込まれるものの、**引き続きすべての輸送機関で『利用動向指数』がマイナスとなる。総じてみると、各輸送機関とも利用回復に向けての足取りは依然として鈍い。**

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料およびパルプ・紙がプラスで、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（1～3月）実績から3ポイント低下して△13となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に下降する一方、化学・プラスチック、金属製品、消費財卸の3業種がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と10ポイント上昇する見通しであり、利用減退の動きは弱まるとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	105	19	60	21	△2	103	23	60	17	6	102	21	69	10	11
	繊維・衣服	29	14	62	24	△10	31	19	39	42	△23	31	9	52	39	△30
	木材・家具	41	14	59	27	△13	37	16	54	30	△14	37	19	62	19	0
	パルプ・紙	48	31	48	21	10	51	29	53	18	11	50	22	56	22	0
	化学・プラスチック	109	13	68	19	△6	110	16	60	24	△8	109	17	67	16	1
	窯業・土石	40	19	43	38	△19	38	5	56	39	△34	38	8	63	29	△21
	鉄鋼・非鉄	104	14	51	35	△21	99	17	51	32	△15	99	22	55	23	△1
	金属製品	56	11	64	25	△14	55	16	59	25	△9	54	26	61	13	13
	一般機械	97	13	53	34	△21	97	12	60	28	△16	96	13	65	22	△9
	電気機械	116	17	51	32	△15	108	14	50	36	△22	107	12	65	23	△11
	輸送用機械	103	19	56	25	△6	98	11	56	33	△22	98	17	55	28	△11
	精密機械	23	13	74	13	0	27	11	56	33	△22	27	14	67	19	△5
	その他	63	22	45	33	△11	61	18	52	30	△12	61	16	63	21	△5
計	934	17	56	27	△10	915	16	55	29	△13	909	17	62	21	△4	
卸売業	生産財	48	21	56	23	△2	37	16	57	27	△11	36	5	78	17	△12
	消費財	50	18	60	22	△4	51	16	57	27	△11	50	22	64	14	8
	計	98	19	59	22	△3	88	16	57	27	△11	86	15	70	15	0
合計	1,032	17	56	27	△10	1,003	16	55	29	△13	995	17	63	20	△3	

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料など4業種がプラスで、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（1～3月）実績から5ポイント低下して△12となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に下降する一方、木材・家具および金属製品がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と8ポイント上昇する見通しであり、利用減退の動きは弱まるとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	75	20	61	19	1	72	17	75	8	9	71	20	72	8	12	
繊維・衣服	30	20	67	13	7	28	11	64	25	△14	28	11	75	14	△3	
木材・家具	27	14	67	19	△5	25	8	60	32	△24	25	16	72	12	4	
パルプ・紙	30	13	70	17	△4	33	24	55	21	3	33	18	64	18	0	
化学・プラスチック	97	11	75	14	△3	96	12	68	20	△8	96	10	76	14	△4	
窯業・土石	33	12	61	27	△15	29	7	69	24	△17	28	7	72	21	△14	
鉄鋼・非鉄	70	8	69	23	△15	68	12	62	26	△14	67	10	71	19	△9	
金属製品	35	3	77	20	△17	37	13	68	19	△6	36	22	61	17	5	
一般機械	72	7	65	28	△21	69	7	63	30	△23	68	10	66	24	△14	
電気機械	91	14	56	30	△16	92	7	55	38	△31	90	8	66	26	△18	
輸送用機械	76	12	68	20	△8	74	8	68	24	△16	74	8	69	23	△15	
精密機械	22	9	77	14	△5	23	13	70	17	△4	22	14	72	14	0	
その他	46	15	63	22	△7	47	19	53	28	△9	46	13	67	20	△7	
計	704	12	67	21	△9	693	11	64	25	△14	684	12	70	18	△6	
卸売業	生産財	38	18	71	11	7	31	19	65	16	3	31	10	84	6	4
	消費財	37	10	76	14	△4	39	21	62	17	4	38	21	71	8	13
	計	75	15	73	12	3	70	20	63	17	3	69	16	77	7	9
合計	779	13	67	20	△7	763	12	64	24	△12	753	13	70	17	△4	

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙、その他の製造業、消費財卸の3業種がプラス、生産財卸がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（1～3月）実績から5ポイント低下して△8となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品および生産財卸がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と4ポイント上昇する見通しであり、利用減退の動きは弱まるとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	86	10	78	12	△2	82	6	81	13	△7	81	7	81	12	△5
繊維・衣服	31	3	74	23	△20	33	3	70	27	△24	33	3	70	27	△24
木材・家具	32	12	72	16	△4	30	0	77	23	△23	29	10	76	14	△4
パルプ・紙	26	15	81	4	11	29	17	76	7	10	29	10	87	3	7
化学・プラスチック	80	3	89	8	△5	86	7	79	14	△7	85	4	85	11	△7
窯業・土石	35	14	77	9	5	28	4	82	14	△10	28	7	82	11	△4
鉄鋼・非鉄	59	1	92	7	△6	64	0	86	14	△14	63	0	89	11	△11
金属製品	45	13	78	9	4	48	12	73	15	△3	47	19	72	9	10
一般機械	88	14	68	18	△4	92	8	74	18	△10	91	9	76	15	△6
電気機械	107	13	66	21	△8	104	9	69	22	△13	102	9	76	15	△6
輸送用機械	77	6	80	14	△8	82	2	85	13	△11	81	1	82	17	△16
精密機械	27	11	70	19	△8	30	10	57	33	△23	30	13	64	23	△10
その他	52	21	50	29	△8	54	22	65	13	9	55	16	73	11	5
計	745	10	75	15	△5	762	7	76	17	△10	754	7	79	14	△7
卸売業															
生産財	38	18	69	13	5	29	21	58	21	0	29	21	69	10	11
消費財	43	16	79	5	11	40	20	65	15	5	40	18	75	7	11
計	81	17	74	9	8	69	20	63	17	3	69	19	72	9	10
合計	826	11	75	14	△3	831	9	74	17	△8	823	9	78	13	△4

(4) 鉄道コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械が唯一プラスを示し、パルプ・紙、化学・プラスチック、生産財卸の3業種がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△9と、前期（1～3月）実績から2ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙および化学・プラスチックがマイナスに沈む一方、木材・家具がゼロ水準まで戻すなど、過半数の業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と2ポイント上昇する見通しであり、利用減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	55	22	58	20	2	52	12	71	17	△5	52	13	66	21	△8
繊維・衣服	11	18	64	18	0	11	9	73	18	△9	11	9	73	18	△9
木材・家具	20	15	75	10	5	16	6	56	38	△32	16	19	62	19	0
パルプ・紙	32	13	59	28	△15	35	26	48	26	0	34	20	56	24	△4
化学・プラスチック	82	12	76	12	0	78	14	72	14	0	77	10	77	13	△3
製 窯業・土石	15	0	80	20	△20	12	0	75	25	△25	12	0	83	17	△17
鉄鋼・非鉄	44	9	77	14	△5	42	12	64	24	△12	42	9	74	17	△8
金 属 製 品	20	5	80	15	△10	21	10	71	19	△9	20	10	70	20	△10
製 一 般 機 械	38	3	79	18	△15	33	0	79	21	△21	33	0	82	18	△18
電 気 機 械	41	9	71	20	△11	38	10	66	24	△14	38	13	71	16	△3
輸 送 用 機 械	36	11	61	28	△17	37	2	76	22	△20	37	8	70	22	△14
精 密 機 械	13	8	77	15	△7	15	13	80	7	6	15	20	73	7	13
そ の 他	29	3	73	24	△21	35	9	71	20	△11	34	8	74	18	△10
計	436	11	71	18	△7	425	11	69	20	△9	421	11	71	18	△7
卸 生 産 財	11	18	64	18	0	9	11	78	11	0	9	11	78	11	0
消 費 財	17	18	71	11	7	20	10	60	30	△20	20	15	65	20	△5
計	28	18	68	14	4	29	10	66	24	△14	29	14	69	17	△3
合 計	464	11	71	18	△7	454	11	69	20	△9	450	11	71	18	△7

(5) 内航コンテナ・RORO船

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙が唯一プラスを示し、食料品・飲料および生産財卸がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△10と、前期（1～3月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料および化学・プラスチックがプラスに浮上し、繊維・衣服もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△5と5ポイント上昇する見通しであり、利用減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

内航コンテナ・RORO船利用の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	37	8	76	16	△8	33	6	88	6	0	34	9	85	6	3	
繊維・衣服	8	0	88	12	△12	7	0	86	14	△14	7	14	72	14	0	
木材・家具	13	8	69	23	△15	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11	
パルプ・紙	22	23	50	27	△4	21	19	71	10	9	21	19	67	14	5	
化学・プラスチック	59	3	87	10	△7	57	9	79	12	△3	57	7	88	5	2	
製造業	窯業・土石	12	8	75	17	△9	8	0	75	25	△25	7	0	71	29	△29
	鉄鋼・非鉄	27	7	82	11	△4	27	4	70	26	△22	27	7	74	19	△12
	金属製品	15	0	87	13	△13	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
	一般機械	36	8	75	17	△9	27	7	74	19	△12	27	11	74	15	△4
	電気機械	36	3	75	22	△19	37	3	73	24	△21	36	5	78	17	△12
	輸送用機械	30	7	70	23	△16	31	6	75	19	△13	31	13	71	16	△3
	精密機械	12	0	83	17	△17	12	8	75	17	△9	12	8	75	17	△9
その他	23	8	70	22	△14	24	4	75	21	△17	24	8	71	21	△13	
計	330	7	76	17	△10	309	6	78	16	△10	308	8	79	13	△5	
卸売業	生産財	9	11	89	0	11	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	消費財	10	0	80	20	△20	11	0	73	27	△27	11	0	82	18	△18
	計	19	5	84	11	△6	16	0	81	19	△19	16	0	88	12	△12
合計	349	6	77	17	△11	325	6	78	16	△10	324	8	79	13	△5	

(6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、生産財卸が唯一ゼロ水準を示す以外は、残り14業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△20と、前期（1～3月）実績から5ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準まで戻すなど、過半数の業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△16と4ポイント上昇する見通しであり、利用は引き続き減退するものの、減退の動きはいくぶん弱まると見込まれる。

国内航空利用の実績と見通し

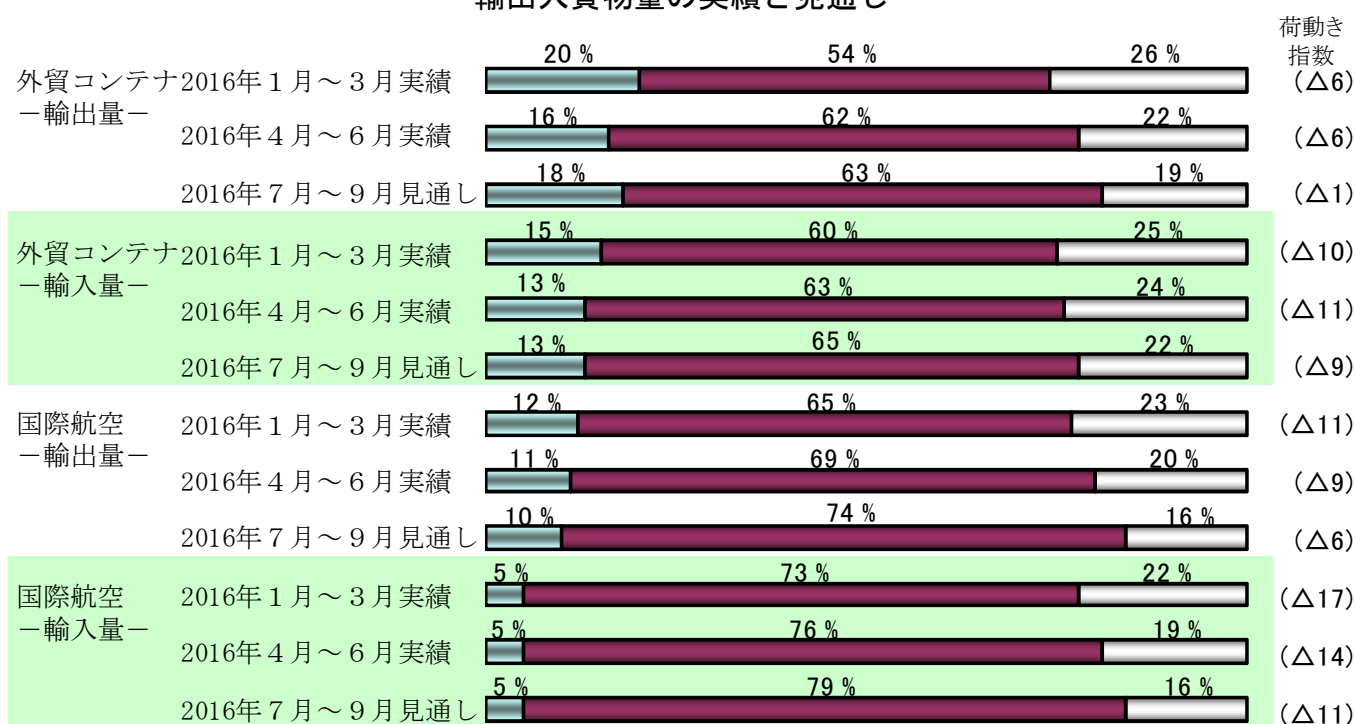
業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	29	3	83	14	△11	25	0	68	32	△32	25	0	72	28	△28	
繊維・衣服	12	8	75	17	△9	10	10	60	30	△20	10	0	80	20	△20	
木材・家具	11	9	73	18	△9	11	9	73	18	△9	11	9	82	9	0	
パルプ・紙	6	0	83	17	△17	5	0	60	40	△40	5	0	60	40	△40	
化学・プラスチック	38	3	84	13	△10	37	5	87	8	△3	37	5	87	8	△3	
窯業・土石	10	10	50	40	△30	8	0	63	37	△37	8	0	63	37	△37	
鉄鋼・非鉄	20	10	70	20	△10	19	0	74	26	△26	19	0	84	16	△16	
金属製品	20	0	85	15	△15	15	0	87	13	△13	15	7	80	13	△6	
一般機械	42	2	81	17	△15	40	5	75	20	△15	40	0	80	20	△20	
電気機械	56	7	64	29	△22	57	10	60	30	△20	57	11	63	26	△15	
輸送用機械	28	0	79	21	△21	25	0	76	24	△24	25	4	76	20	△16	
精密機械	18	11	78	11	0	19	0	68	32	△32	19	5	74	21	△16	
その他	20	5	60	35	△30	21	4	67	29	△25	21	9	62	29	△20	
計	310	5	75	20	△15	292	4	72	24	△20	292	5	74	21	△16	
卸売業	生産財	15	20	73	7	13	11	9	82	9	0	11	9	82	9	0
	消費財	14	7	72	21	△14	15	0	67	33	△33	15	7	60	33	△26
	計	29	14	72	14	0	26	4	73	23	△19	26	8	69	23	△15
合計	339	5	75	20	△15	318	4	72	24	△20	318	5	74	21	△16	

－ 4. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、国際航空の輸出および輸入において前期（1～3 月）実績より上昇する一方、外貿コンテナの輸出で横ばい、輸入では低下した。『荷動き指数』は、引き続きすべての輸送機関でマイナスを示した。

■ 7～9 月の見通しでは、すべての輸送機関において『荷動き指数』が改善し、外貿コンテナの輸出では△1 と水面近くまで戻す。この結果、荷動きの減退圧力は弱まるものの、引き続きすべての輸送機関で『荷動き指数』がマイナスとなり、総じてみると、荷動き回復に向けての足取りは依然として鈍い。

輸出入貨物量の実績と見通し



■増加 ■横ばい □減少

(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料、金属製品など5業種がプラス、繊維・衣服、窯業・土石、その他の製造業の3業種がゼロ水準で、電気機械、輸送用機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績から横ばいで推移した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械、精密機械、その他の製造業の3業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△1と5ポイント上昇する見通しであり、荷動き減退の動きは弱まるとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	24	38	54	8	30	26	35	58	7	28	26	38	54	8	30	
繊維・衣服	13	23	62	15	8	14	29	42	29	0	14	29	42	29	0	
木材・家具	5	40	40	20	20	6	33	67	0	33	6	33	67	0	33	
パルプ・紙	16	38	44	18	20	20	20	65	15	5	20	30	55	15	15	
化学・プラスチック	62	21	50	29	△8	62	16	71	13	3	62	16	71	13	3	
窯業・土石	20	20	40	40	△20	16	19	62	19	0	15	20	60	20	0	
鉄鋼・非鉄	41	17	49	34	△17	47	13	64	23	△10	47	11	68	21	△10	
金属製品	18	22	50	28	△6	18	22	78	0	22	17	24	76	0	24	
一般機械	66	15	53	32	△17	60	20	53	27	△7	60	23	55	22	1	
電気機械	60	18	55	27	△9	55	11	56	33	△22	55	9	69	22	△13	
輸送用機械	50	20	62	18	2	55	7	55	38	△31	55	13	51	36	△23	
精密機械	15	13	67	20	△7	16	12	69	19	△7	16	25	56	19	6	
その他	28	11	64	25	△14	31	16	68	16	0	31	19	65	16	3	
計	418	20	54	26	△6	426	17	61	22	△5	424	18	62	20	△2	
卸売業	生産財	9	33	56	11	22	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	消費財	8	0	63	37	△37	11	9	73	18	△9	11	9	73	18	△9
	計	17	17	59	24	△7	19	5	79	16	△11	19	5	79	16	△11
合計	435	20	54	26	△6	445	16	62	22	△6	443	18	63	19	△1	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、金属製品が唯一プラスを示し、窯業・土石および消費財卸がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△11で、前期（1～3月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械、その他の製造業、消費財卸の3業種がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△9と2ポイント上昇する見通しであり、荷動き減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	27	11	59	30	△19	26	15	58	27	△12	26	15	58	27	△12
繊維・衣服	12	42	42	16	26	14	14	57	29	△15	14	7	64	29	△22
木材・家具	8	25	63	12	13	12	17	58	25	△8	12	17	66	17	0
パルプ・紙	10	0	70	30	△30	13	15	54	31	△16	13	15	47	38	△23
化学・プラスチック	56	16	70	14	2	57	9	77	14	△5	57	9	77	14	△5
窯業・土石	21	14	43	43	△29	16	19	62	19	0	16	6	75	19	△13
鉄鋼・非鉄	27	7	63	30	△23	29	14	62	24	△10	29	13	59	28	△15
金属製品	15	7	80	13	△6	16	25	75	0	25	16	19	81	0	19
一般機械	58	15	64	21	△6	61	16	63	21	△5	61	14	66	20	△6
電気機械	56	11	57	32	△21	53	8	60	32	△24	53	9	72	19	△10
輸送用機械	57	21	60	19	2	53	9	65	26	△17	53	8	60	32	△24
精密機械	15	6	67	27	△21	17	11	71	18	△7	17	24	59	17	7
その他	25	8	60	32	△24	25	20	52	28	△8	25	28	48	24	4
計	387	14	62	24	△10	392	13	64	23	△10	392	13	65	22	△9
卸売業															
生産財	12	17	33	50	△33	11	9	46	45	△36	11	9	36	55	△46
消費財	11	27	55	18	9	15	27	46	27	0	15	27	53	20	7
計	23	22	43	35	△13	26	19	46	35	△16	26	19	46	35	△16
合計	410	15	60	25	△10	418	13	63	24	△11	418	13	65	22	△9

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、化学・プラスチック、金属製品、生産財卸の3業種がプラス、繊維・衣服、木材・家具、パルプ・紙の3業種がゼロ水準で、一般機械、電気機械など9業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△9で、前期（1～3月）実績から2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がプラスに浮上し、その他の製造業もゼロ水準まで戻す以外に大きな動きはみられない。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△6と3ポイント上昇する見通しであり、荷動き減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	12	0	92	8	△8	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10	
繊維・衣服	11	0	91	9	△9	8	13	74	13	0	8	13	74	13	0	
木材・家具	2	0	100	0	0	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0	
パルプ・紙	3	0	100	0	0	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0	
化学・プラスチック	36	11	72	17	△6	41	17	71	12	5	41	17	76	7	10	
窯業・土石	13	24	38	38	△14	12	8	50	42	△34	12	0	67	33	△33	
鉄鋼・非鉄	27	22	67	11	11	26	15	66	19	△4	26	15	73	12	3	
金属製品	15	13	47	40	△27	16	13	81	6	7	16	13	81	6	7	
一般機械	59	3	68	29	△26	60	11	72	17	△6	60	10	73	17	△7	
電気機械	74	12	53	35	△23	65	10	62	28	△18	65	8	74	18	△10	
輸送用機械	38	13	79	8	5	43	16	63	21	△5	43	9	75	16	△7	
精密機械	18	22	61	17	5	22	5	68	27	△22	22	13	55	32	△19	
その他	18	17	61	22	△5	16	12	69	19	△7	16	13	74	13	0	
計	326	12	65	23	△11	325	12	68	20	△8	325	10	74	16	△6	
卸売業	生産財	11	18	73	9	9	10	20	70	10	10	10	20	70	10	10
	消費財	6	0	50	50	△50	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	計	17	11	65	24	△13	18	11	72	17	△6	18	11	72	17	△6
合計	343	12	65	23	△11	343	11	69	20	△9	343	10	74	16	△6	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、食料品・飲料など4業種がゼロ水準にとどまり、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△14で、前期（1～3月）実績から3ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、その他の製造業がマイナスに沈む一方、金属製品がゼロ水準まで戻すなど、5業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△11と3ポイント上昇する見通しであり、荷動きは引き続き減退するものの、減退の動きはいくぶん弱まると見込まれる。

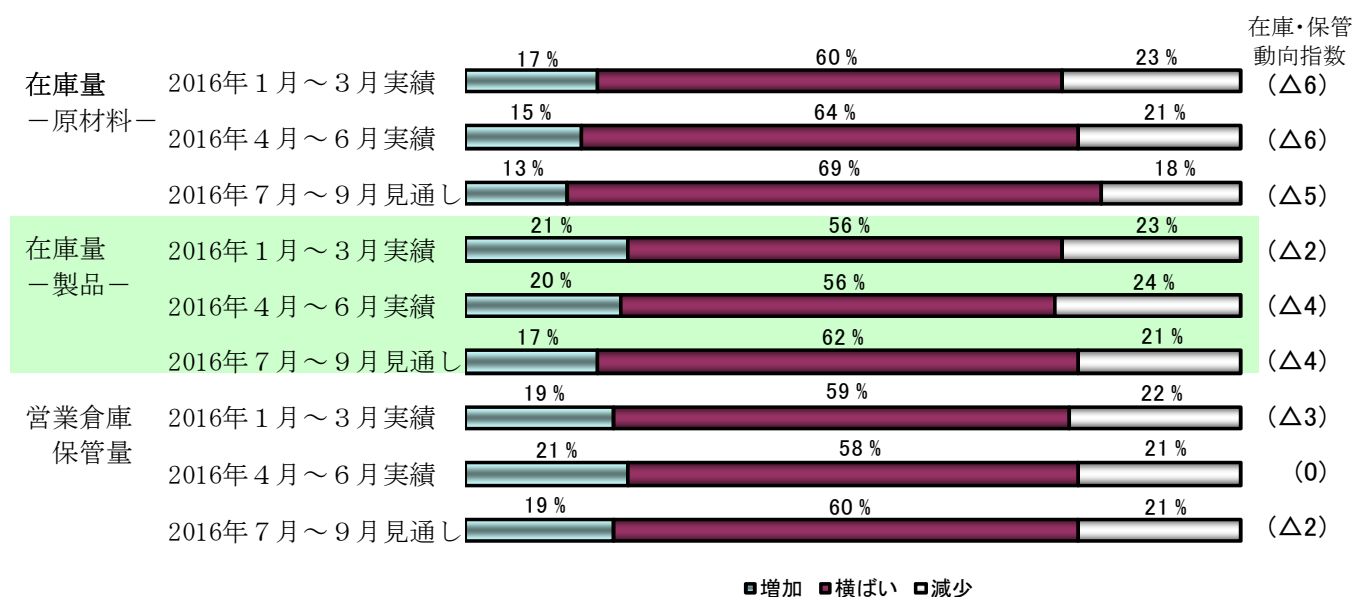
国際航空による輸入量の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	11	0	91	9	△9	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
繊維・衣服	9	0	89	11	△11	7	0	71	29	△29	7	0	71	29	△29
木材・家具	2	0	100	0	0	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
パルプ・紙	3	0	67	33	△33	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	35	3	83	14	△11	32	6	85	9	△3	32	6	85	9	△3
窯業・土石	11	0	64	36	△36	9	0	78	22	△22	9	0	78	22	△22
鉄鋼・非鉄	19	10	74	16	△6	19	5	79	16	△11	19	0	95	5	△5
金属製品	11	0	82	18	△18	13	0	92	8	△8	13	8	84	8	0
一般機械	50	8	64	28	△20	50	2	82	16	△14	50	2	80	18	△16
電気機械	63	6	65	29	△23	53	11	59	30	△19	52	10	71	19	△9
輸送用機械	36	8	84	8	0	44	7	70	23	△16	44	7	73	20	△13
精密機械	19	11	63	26	△15	22	9	68	23	△14	22	14	59	27	△13
その他	19	5	63	32	△27	15	13	74	13	0	15	7	80	13	△6
計	288	6	72	22	△16	277	6	75	19	△13	276	6	78	16	△10
卸売業															
生産財	9	0	89	11	△11	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
消費財	9	11	67	22	△11	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
計	18	5	78	17	△12	18	0	83	17	△17	18	0	83	17	△17
合計	306	5	73	22	△17	295	5	76	19	△14	294	5	79	16	△11

－ 5. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

- 4～6月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、営業倉庫保管量において『動向指数』が前期（1～3月）実績より上昇する一方、原材料在庫で横ばい、製品在庫では低下した。この結果、**営業倉庫保管量で『動向指数』がゼロ水準、原材料在庫および製品在庫ではマイナスと、ややバラツキがみられる。**
- 7～9月の見通しについては、原材料在庫において『動向指数』が上昇する一方、製品在庫で横ばい、営業倉庫保管量では低下する見込みである。この結果、**すべての『動向指数』がマイナスとなり、在庫調整の進展が窺える。**

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、パルプ・紙など4業種がプラス、その他の製造業および消費財卸がゼロ水準で、電気機械、輸送用機械など9業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績から横ばいで推移した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、木材・家具がマイナスに沈む一方、金属製品、その他の製造業、消費財卸の3業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△5と強含み横ばいで推移する見込みであり、原材料在庫は縮小の動きが続くとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	97	15	61	24	△9	87	13	67	20	△7	87	13	72	15	△2	
繊維・衣服	33	15	55	30	△15	34	24	50	26	△2	34	15	56	29	△14	
木材・家具	37	32	44	24	8	35	20	66	14	6	35	14	66	20	△6	
パルプ・紙	41	24	64	12	12	47	30	68	2	28	47	15	77	8	7	
化学・プラスチック	101	22	59	19	3	104	21	64	15	6	103	18	68	14	4	
窯業・土石	39	26	54	20	6	38	5	77	18	△13	38	0	79	21	△21	
鉄鋼・非鉄	97	12	60	28	△16	94	15	65	20	△5	94	13	70	17	△4	
金属製品	47	6	66	28	△22	47	13	72	15	△2	45	16	80	4	12	
一般機械	84	14	66	20	△6	86	12	60	28	△16	86	10	62	28	△18	
電気機械	104	20	47	33	△13	98	8	64	28	△20	98	10	74	16	△6	
輸送用機械	92	18	62	20	△2	91	6	64	30	△24	91	11	63	26	△15	
精密機械	26	15	66	19	△4	28	14	54	32	△18	28	17	54	29	△12	
その他	55	16	69	15	1	53	17	66	17	0	53	15	74	11	4	
計	853	18	59	23	△5	842	14	65	21	△7	839	13	69	18	△5	
卸売業	生産財	33	12	58	30	△18	25	28	56	16	12	25	16	72	12	4
	消費財	32	16	75	9	7	32	22	56	22	0	32	25	53	22	3
	計	65	14	66	20	△6	57	25	56	19	6	57	21	61	18	3
合計	918	17	60	23	△6	899	15	64	21	△6	896	13	69	18	△5	

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、パルプ・紙、化学・プラスチックなど5業種がプラス、窯業・土石がゼロ水準で、電気機械、輸送用機械など9業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△4で、前期（1～3月）実績から2ポイント低下した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、木材・家具および金属製品がプラスに浮上する一方、窯業・土石および生産財卸がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△4と横ばいで推移する見込みで、製品在庫は縮小の動きが続くとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	96	16	59	25	△9	90	20	56	24	△4	90	12	68	20	△8	
繊維・衣服	34	21	53	26	△5	32	25	47	28	△3	32	25	44	31	△6	
木材・家具	40	28	48	24	4	33	21	46	33	△12	33	24	55	21	3	
パルプ・紙	45	29	47	24	5	49	33	51	16	17	49	22	66	12	10	
化学・プラスチック	106	24	61	15	9	111	31	55	14	17	110	27	58	15	12	
窯業・土石	39	21	62	17	4	38	26	48	26	0	38	18	58	24	△6	
鉄鋼・非鉄	101	22	56	22	0	95	22	50	28	△6	95	18	59	23	△5	
金属製品	49	12	66	22	△10	49	12	70	18	△6	48	15	73	12	3	
一般機械	87	23	53	24	△1	90	15	58	27	△12	90	9	60	31	△22	
電気機械	108	22	41	37	△15	101	15	52	33	△18	100	15	64	21	△6	
輸送用機械	92	24	61	15	9	92	7	67	26	△19	92	14	62	24	△10	
精密機械	27	15	70	15	0	31	9	68	23	△14	31	16	65	19	△3	
その他	57	28	58	14	14	59	22	59	19	3	59	14	75	11	3	
計	881	22	56	22	0	870	20	56	24	△4	867	17	62	21	△4	
卸売業	生産財	41	12	56	32	△20	38	26	53	21	5	38	18	58	24	△6
	消費財	41	10	68	22	△12	42	26	55	19	7	42	24	57	19	5
	計	82	11	62	27	△16	80	26	54	20	6	80	21	58	21	0
合計	963	21	56	23	△2	950	20	56	24	△4	947	17	62	21	△4	

(3) 営業倉庫保管量

■ 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、繊維・衣服、化学・プラスチックなど5業種がプラス、窯業・土石および一般機械がゼロ水準で、電気機械、輸送用機械など8業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績から3ポイント上昇した。

■ 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、金属製品がゼロ水準まで戻す一方、窯業・土石および一般機械がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『保管動向指数』は△2と2ポイント低下する見込みで、営業倉庫保管量は縮小に向かうとみられる。

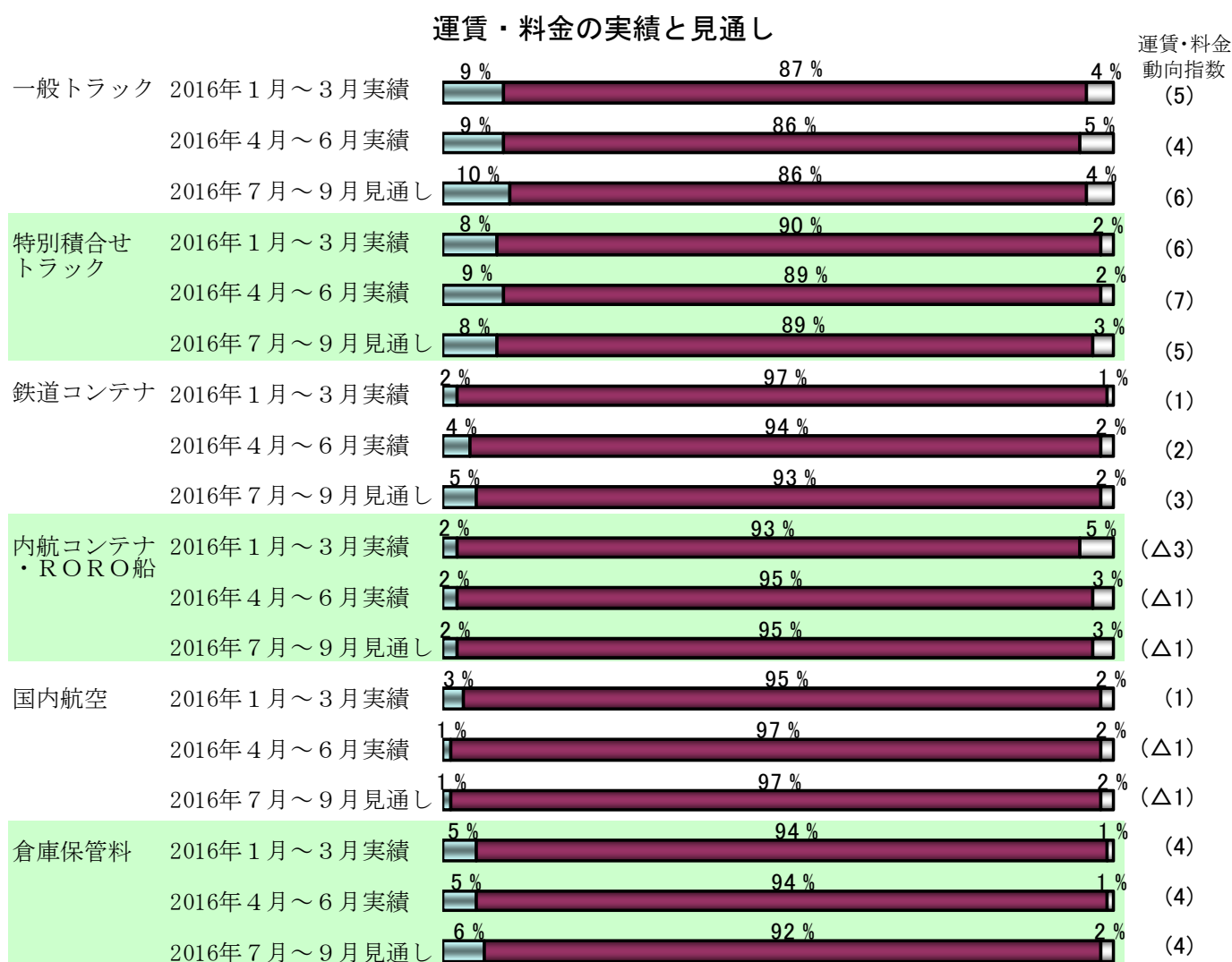
営業倉庫保管量の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	79	19	56	25	△6	79	21	56	23	△2	79	23	53	24	△1	
繊維・衣服	16	31	50	19	12	17	41	41	18	23	17	35	41	24	11	
木材・家具	29	21	55	24	△3	28	14	50	36	△22	28	14	50	36	△22	
パルプ・紙	37	27	59	14	13	43	30	54	16	14	43	28	58	14	14	
化学・プラスチック	91	24	63	13	11	90	32	56	12	20	89	31	58	11	20	
窯業・土石	25	28	44	28	0	23	22	56	22	0	23	17	61	22	△5	
鉄鋼・非鉄	73	15	66	19	△4	74	15	62	23	△8	74	13	69	18	△5	
金属製品	29	13	59	28	△15	27	11	67	22	△11	27	15	70	15	0	
一般機械	68	12	62	26	△14	63	16	68	16	0	63	14	64	22	△8	
電気機械	75	23	53	24	△1	71	11	61	28	△17	71	14	63	23	△9	
輸送用機械	67	24	54	22	2	70	15	56	29	△14	69	14	56	30	△16	
精密機械	19	11	68	21	△10	18	11	67	22	△11	18	17	61	22	△5	
その他	44	16	68	16	0	45	20	58	22	△2	45	16	64	20	△4	
計	652	20	59	21	△1	648	20	58	22	△2	646	19	60	21	△2	
卸売業	生産財	35	17	46	37	△20	31	32	49	19	13	31	23	58	19	4
	消費財	37	16	70	14	2	43	26	56	18	8	43	23	61	16	7
	計	72	17	58	25	△8	74	28	53	19	9	74	23	59	18	5
合計	724	19	59	22	△3	722	21	58	21	0	720	19	60	21	△2	

－ 6. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ・RORO船において前期（1～3月）実績より上昇する一方、倉庫保管料で横ばい、一般トラックおよび国内航空では低下した。『動向指数』は、内航コンテナ・RORO船および国内航空でマイナスとなる一方、その他の機関においてはプラスを示した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、一般トラックおよび鉄道コンテナにおいて上昇する一方、内航コンテナ・RORO船、国内航空、営業倉庫保管料で横ばい、特別積合せトラックでは低下する。この結果、内航コンテナ・RORO船および国内航空以外の4機関では『動向指数』がプラスを維持し、運賃・料金の上昇基調に変化はないが、ややマイルドになるとみられる。



■ 値上り ■ 変わらず □ 値下り

(1) 一般トラック運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具および鉄鋼・非鉄がマイナス、窯業・土石およびその他の製造業がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス4で、前期（1～3月）実績から弱含み横ばいで推移した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、その他の製造業がプラスに浮上するなど、10業種において上昇が見込まれる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス6と2ポイント上昇する見通しであり、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、基調はややマイルドになるとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	105	17	79	4	13	100	17	81	2	15	99	19	79	2	17
繊維・衣服	29	7	83	10	△3	30	13	87	0	13	29	14	83	3	11
木材・家具	39	15	80	5	10	37	5	81	14	△9	37	8	81	11	△3
パルプ・紙	47	6	92	2	4	50	4	94	2	2	50	4	94	2	2
化学・プラスチック	109	10	87	3	7	108	6	90	4	2	107	7	91	2	5
窯業・土石	40	8	88	4	4	38	5	90	5	0	38	5	90	5	0
鉄鋼・非鉄	102	4	81	15	△11	98	9	73	18	△9	98	10	74	16	△6
金属製品	54	6	93	1	5	55	9	89	2	7	54	7	93	0	7
一般機械	96	7	92	1	6	95	6	92	2	4	95	5	94	1	4
電気機械	115	7	90	3	4	109	5	92	3	2	109	7	92	1	6
輸送用機械	100	4	87	9	△5	96	7	87	6	1	96	7	89	4	3
精密機械	25	4	88	8	△4	29	10	83	7	3	29	14	79	7	7
その他	61	2	98	0	2	60	5	90	5	0	60	5	92	3	2
計	922	8	87	5	3	905	8	87	5	3	901	9	87	4	5
卸売業															
生産財	44	18	82	0	18	38	11	89	0	11	38	16	84	0	16
消費財	50	18	82	0	18	51	20	80	0	20	51	25	73	2	23
計	94	18	82	0	18	89	16	84	0	16	89	21	78	1	20
合計	1,016	9	87	4	5	994	9	86	5	4	990	10	86	4	6

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具および鉄鋼・非鉄がマイナス、一般機械および精密機械がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス7で、前期(1～3月)実績から強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準まで戻す一方、輸送用機械がゼロ水準に下降するなど、4業種において低下が見込まれる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス5と2ポイント低下する見通しであり、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、基調はややマイルドになるとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	75	12	87	1	11	70	14	86	0	14	69	14	86	0	14	
繊維・衣服	28	7	86	7	0	26	12	85	3	9	26	12	85	3	9	
木材・家具	26	4	96	0	4	25	0	96	4	△4	24	0	100	0	0	
パルプ・紙	28	11	89	0	11	31	6	94	0	6	31	6	94	0	6	
化学・プラスチック	96	9	89	2	7	93	14	83	3	11	93	13	83	4	9	
窯業・土石	33	15	85	0	15	28	11	89	0	11	28	4	96	0	4	
鉄鋼・非鉄	66	3	91	6	△3	64	3	89	8	△5	64	3	89	8	△5	
金属製品	34	6	94	0	6	38	11	87	2	9	37	5	95	0	5	
一般機械	70	9	90	1	8	66	2	96	2	0	67	3	94	3	0	
電気機械	89	7	91	2	5	90	6	92	2	4	90	7	91	2	5	
輸送用機械	77	3	92	5	△2	75	7	88	5	2	74	5	90	5	0	
精密機械	22	5	90	5	0	23	4	92	4	0	23	4	92	4	0	
その他	44	5	95	0	5	46	9	89	2	7	46	13	85	2	11	
計	688	7	91	2	5	675	8	89	3	5	672	8	89	3	5	
卸売業	生産財	39	15	85	0	15	31	13	84	3	10	31	13	84	3	10
	消費財	37	14	86	0	14	37	19	81	0	19	37	19	81	0	19
	計	76	14	86	0	14	68	16	83	1	15	68	16	83	1	15
合計	764	8	90	2	6	743	9	89	2	7	740	8	89	3	5	

(3) 鉄道コンテナ運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、化学・プラスチックなど7業種がプラス、木材・家具など6業種がゼロ水準で、金属製品および精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期(1～3月)実績から強含み横ばいで推移した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石がマイナスに沈む一方、一般機械がプラスに浮上するなど、6業種において上昇が見込まれる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス3と強含み横ばいで推移する見通しであり、運賃水準の上昇圧力はわずかながら強まるとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	54	0	100	0	0	51	8	92	0	8	51	10	90	0	10	
繊維・衣服	11	9	91	0	9	11	18	82	0	18	11	27	73	0	27	
木材・家具	20	0	100	0	0	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0	
パルプ・紙	29	7	93	0	7	31	6	94	0	6	31	10	90	0	10	
化学・プラスチック	82	4	94	2	2	80	4	95	1	3	80	4	95	1	3	
窯業・土石	14	14	86	0	14	12	8	84	8	0	12	0	92	8	△8	
鉄鋼・非鉄	46	2	98	0	2	39	3	97	0	3	39	5	95	0	5	
金属製品	22	0	95	5	△5	24	0	92	8	△8	23	0	96	4	△4	
一般機械	38	0	100	0	0	32	0	100	0	0	33	3	97	0	3	
電気機械	42	0	100	0	0	41	0	100	0	0	39	0	100	0	0	
輸送用機械	38	0	97	3	△3	37	8	84	8	0	37	5	90	5	0	
精密機械	14	0	93	7	△7	15	0	93	7	△7	15	0	93	7	△7	
その他	29	0	100	0	0	33	3	94	3	0	33	3	94	3	0	
計	439	2	97	1	1	422	4	94	2	2	420	5	94	1	4	
卸売業	生産財	11	9	91	0	9	10	20	70	10	10	10	20	70	10	10
	消費財	16	0	100	0	0	20	5	95	0	5	20	5	95	0	5
	計	27	4	96	0	4	30	10	87	3	7	30	10	87	3	7
合計	466	2	97	1	1	452	4	94	2	2	450	5	93	2	3	

(4) 内航コンテナ・RORO運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料が唯一プラスを示し、繊維・衣服など9業種がゼロ水準で、鉄鋼・非鉄など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期(1～3月)実績から2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸がプラスに浮上し、鉄鋼・非鉄が上昇する一方、食料品・飲料および輸送用機械が低下する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△1と横ばいで推移する見通しであり、運賃水準には小幅な低下が見込まれる。

内航コンテナ・RORO運賃の実績と見通し

業種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	35	0	97	3	△3	34	9	88	3	6	34	6	91	3	3
繊維・衣服	8	0	100	0	0	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
木材・家具	10	0	100	0	0	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
パルプ・紙	21	10	76	14	△4	22	5	86	9	△4	22	5	86	9	△4
化学・プラスチック	57	4	91	5	△1	56	0	100	0	0	56	0	100	0	0
製 窯業・土石	10	10	70	20	△10	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	28	0	93	7	△7	26	0	85	15	△15	26	0	88	12	△12
業 金属製品	14	0	93	7	△7	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
一般機械	33	3	94	3	0	30	0	100	0	0	30	0	100	0	0
電気機械	36	0	100	0	0	39	0	100	0	0	39	0	100	0	0
輸送用機械	26	4	96	0	4	27	4	89	7	△3	26	4	88	8	△4
精密機械	13	0	92	8	△8	14	0	93	7	△7	14	0	93	7	△7
その他	22	0	100	0	0	25	0	96	4	△4	25	0	96	4	△4
計	313	2	94	4	△2	311	1	95	4	△3	310	1	96	3	△2
卸 生産財	9	0	89	11	△11	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
業 消費財	10	0	90	10	△10	11	0	100	0	0	11	9	91	0	9
計	19	0	89	11	△11	16	0	100	0	0	16	6	94	0	6
合計	332	2	93	5	△3	327	2	95	3	△1	326	2	95	3	△1

(5) 国内航空運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙、化学・プラスチックの3業種がプラス、繊維・衣服など8業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期(1～3月)実績から2ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックが低下する一方、食料品・飲料、電気機械、精密機械が上昇する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△1と横ばいで推移する見通しであり、運賃水準には小幅な低下が見込まれる。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	26	8	92	0	8	23	4	96	0	4	23	9	91	0	9	
繊維・衣服	11	0	100	0	0	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0	
木材・家具	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0	
パルプ・紙	4	25	75	0	25	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14	
化学・プラスチック	38	0	97	3	△3	39	3	97	0	3	40	2	98	0	2	
窯業・土石	10	10	90	0	10	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0	
鉄鋼・非鉄	19	0	100	0	0	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0	
金属製品	18	0	100	0	0	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0	
一般機械	45	2	96	2	0	41	0	98	2	△2	41	0	98	2	△2	
電気機械	59	2	93	5	△3	60	0	95	5	△5	60	0	97	3	△3	
輸送用機械	30	7	90	3	4	27	0	96	4	△4	27	0	96	4	△4	
精密機械	18	0	89	11	△11	20	0	90	10	△10	20	0	95	5	△5	
その他	21	0	100	0	0	23	0	100	0	0	23	0	100	0	0	
計	310	3	94	3	0	304	1	97	2	△1	305	1	97	2	△1	
卸売業	生産財	15	7	93	0	7	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	消費財	13	0	100	0	0	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
	計	28	4	96	0	4	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
合計	338	3	95	2	1	332	1	97	2	△1	333	1	97	2	△1	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 4～6 月実績（見込み）の『料金動向指数』は、鉄鋼・非鉄および金属製品がマイナス、電気機械および精密機械がゼロ水準で、残り 11 業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス 4 で、前期(1～3 月)実績から横ばいで推移した。

■ 7～9 月の『料金動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がプラスに浮上する一方、電気機械および精密機械がマイナスに沈む以外に大きな動きはみられない。業種全体の『料金動向指数』はプラス 4 と横ばいの推移が見込まれ、料金水準の上昇圧力には変化がないとみられる。

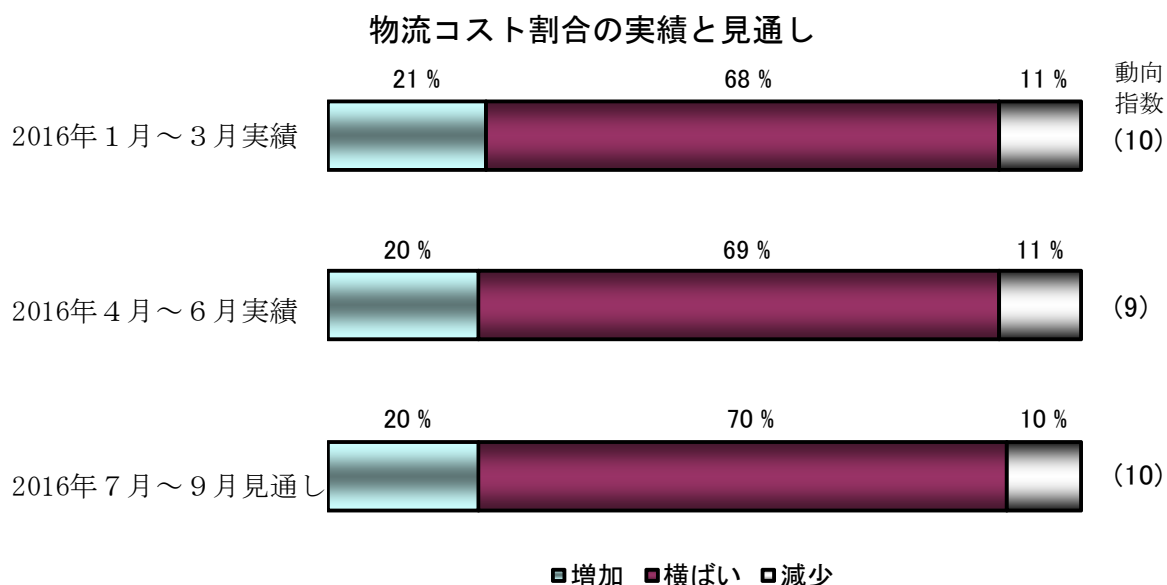
営業倉庫保管料金の実績と見通し

業 種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	75	12	88	0	12	69	6	94	0	6	68	6	94	0	6	
繊維・衣服	15	13	87	0	13	13	15	85	0	15	13	15	85	0	15	
木材・家具	22	0	100	0	0	22	9	91	0	9	22	9	91	0	9	
パルプ・紙	33	9	91	0	9	40	5	95	0	5	40	7	93	0	7	
化学・プラスチック	86	3	95	2	1	86	7	90	3	4	85	11	84	5	6	
窯業・土石	21	5	95	0	5	16	6	94	0	6	16	12	88	0	12	
鉄鋼・非鉄	62	3	95	2	1	60	0	98	2	△ 2	60	2	98	0	2	
金属製品	23	0	91	9	△ 9	23	0	96	4	△ 4	23	0	96	4	△ 4	
一般機械	65	3	97	0	3	58	3	97	0	3	58	5	93	2	3	
電気機械	75	0	100	0	0	64	0	100	0	0	64	0	98	2	△ 2	
輸送用機械	59	5	93	2	3	61	5	93	2	3	61	5	92	3	2	
精密機械	15	0	93	7	△ 7	15	7	86	7	0	15	7	80	13	△ 6	
その他	37	3	97	0	3	37	8	89	3	5	37	8	92	0	8	
計	588	4	95	1	3	564	5	94	1	4	562	6	92	2	4	
卸売業	生産財	30	7	93	0	7	28	4	96	0	4	28	4	96	0	4
	消費財	24	8	88	4	4	33	15	82	3	12	33	12	85	3	9
	計	54	7	91	2	5	61	10	89	1	9	61	8	90	2	6
合計	642	5	94	1	4	625	5	94	1	4	623	6	92	2	4	

ー 7. 物流コスト割合の動向ー

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、木材・家具が唯一マイナスを示し、精密機械がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス9で、前期（1～3月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは、その他の製造業がゼロ水準に下降する一方、精密機械がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス10と強含み横ばいの推移が見込まれ、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。



物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2016年1月～3月実績					2016年4月～6月実績					2016年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
食料品・飲料	107	27	63	10	17	100	29	63	8	21	100	29	63	8	21	
繊維・衣服	36	19	70	11	8	37	24	65	11	13	37	24	65	11	13	
木材・家具	41	27	66	7	20	37	14	70	16	△ 2	37	14	72	14	0	
パルプ・紙	47	26	62	12	14	49	16	72	12	4	49	18	74	8	10	
化学・プラスチック	112	17	71	12	5	109	21	70	9	12	107	20	71	9	11	
窯業・土石	41	27	63	10	17	37	8	87	5	3	37	14	84	2	12	
鉄鋼・非鉄	103	15	74	11	4	98	17	72	11	6	98	19	70	11	8	
金属製品	56	14	75	11	3	53	17	68	15	2	52	15	75	10	5	
一般機械	92	15	78	7	8	96	15	76	9	6	96	17	73	10	7	
電気機械	119	24	60	16	8	115	21	63	16	5	115	21	70	9	12	
輸送用機械	104	22	67	11	11	98	22	64	14	8	98	18	67	15	3	
精密機械	27	15	78	7	8	31	10	80	10	0	31	13	81	6	7	
その他	61	20	62	18	2	61	18	67	15	3	61	16	68	16	0	
計	946	20	68	12	8	921	19	69	12	7	918	19	71	10	9	
卸売業	生産財	49	20	72	8	12	40	33	55	12	21	40	33	58	9	24
	消費財	52	27	67	6	21	53	26	68	6	20	53	32	64	4	28
	計	101	24	69	7	17	93	29	62	9	20	93	32	62	6	26
合計	1,047	21	68	11	10	1,014	20	69	11	9	1,011	20	70	10	10	